

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和03年12月06日

計画の名称	三田井地区都市再生整備計画											
計画の期間	平成28年度 ~ 令和02年度 (5年間)										重点配分対象の該当	
交付対象	高千穂町											
計画の目標	大目標：神都高千穂の活性化をリードする三田井の核・顔づくり 目標1：高千穂の中心地としての歴史・文化資源を活用・伝承する魅力あふれるまちづくり 目標2：高千穂に住む人・高千穂を訪れる人の回遊性・利便性の向上による快適に過ごせるまちづくり 目標3：高千穂の誇りを伝えられる商業・観光の活性化による活気あるまちづくり											
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	389	A	389	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0 %

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H26末)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (R2末)
1	・高千穂町を訪れる年間入込観光客を1,429千人/年から1,513千人/年に増加させる。 高千穂町を訪れる年間入込観光客数	1429千人/年	1489千人/年	1513千人/年
2	・高千穂町に宿泊する年間観光客数を147千人/年から162千人/年に増加させる。 高千穂町に宿泊する年間観光客数	147千人/年	157千人/年	162千人/年
3	・高千穂町を訪れる観光客の宿泊・土産品・飲食に係る年間消費額を35億円/年から38億円/年に増加させる。 高千穂町を訪れる観光客の宿泊・土産品・飲食に係る年間消費額	35億円/年	37億円/年	38億円/年

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業																				
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H28	H29	H30	H31	R02				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
都市再生整備計画事業	A10-001	都市再生	一般	高千穂町	直接	高千穂町	-	-	都市再生整備計画(三田井地区)(A-1)	道路整備等	高千穂町						389	-		
												小計						389		
												合計							389	

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
高千穂町公共事業再評価委員会で実施	R3年度
	公表の方法
	高千穂町ホームページに掲載
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・町道くしふる神社通線（町道交差部～神代川交差部区間）や神殿南駐車場の整備による訪問者の利便性・アクセス性の向上や、都市計画道路狭山寺迫線（町道城山～神殿線）による道路景観の神都としての修景、まちなかの回遊性の向上が進んだ。 ・町道くしふる神社通線（町道交差部～神代川交差部区間）や神殿南駐車場の整備による観光客のまちなかへの誘導や、都市計画道路狭山寺迫線（町道城山～神殿線）の歩道の夜間ライトアップにより神都としての空間形成が進んだ。 ・チャレンジショップ開店支援・既存店舗改修支援による商業機能の向上が進んだ。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくりワークショップにより、一部整備方針には地域住民意見が反映されるなど、地域住民のまちづくりに対する意識醸成につながった。また、参加した行政職員と町民との信頼とネットワークが培われた。 ・事業実施後に開催された三田井地区まちづくり協議会では、道路や照明の整備により神都としての雰囲気や景観が形成されつつあることや、神殿南駐車場から見る景観が良くなったことなど、整備効果を評価する好意的な意見が挙げられた。さらに協議会では、今後のまちづくりのあり方についても議論がなされ、地域住民のまちづくりに対する意識向上につながった。
特記事項（今後の方針等）	
<ul style="list-style-type: none"> ・観光客のまちなかへの誘導やまちなかのにぎわい創出の効果を持続し高めるため、空き家等の現状調査や活用方法の検討と合わせて、官民の協働で居心地がよく歩きたくなるまちなかの形成を進めることで、通りを行き交う住民や観光客の増加を図る。さらに地域住民が気軽に憩い集える場や観光客への観光案内機能、住民と観光客同士の交流を促進する機能等を集約した拠点整備により、自然と交流が生まれる場の創出を図る。 ・観光客の滞在時間延長の効果を持続し高めるため、観光客のニーズを的確に把握し、観光客が地区の魅力を満喫できるような観光資源の提供方法を検討するとともに、まちなかの歩行空間に三田井地区独自の魅力的な観光スポットを創出することで、まち歩きを楽しめる環境整備を進める。 ・効果が顕在化していない観光客の取り込みについては、住民の生活利便性や観光客の満足度の向上を図るため、基盤整備や基礎調査・基礎検討を継続しつつ、神都らしい神秘的な景観等の観光資源を効果的に情報発信することで、集客力の向上を目指す。 	

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	高千穂町入込観光客数		
	最終目標値	1513千人/年	新型コロナウイルス感染症拡大に伴う人の移動制限や自粛が要因となり、目標値には及ばなかった。また、個別の基盤整備は進んだものの、まち全体の活性化に資する面的な環境整備には至らなかったことも要因と推察される。
	最終実績値	759千人/年	
2	宿泊観光客数		
	最終目標値	162千人/年	新型コロナウイルス感染症拡大に伴う人の移動制限や自粛が要因となり、目標値には及ばなかった。
	最終実績値	115千人/年	
3	観光客消費額		
	最終目標値	38億円/年	新型コロナウイルス感染症拡大に伴う人の移動制限や自粛が要因となり、目標値には及ばなかった。
	最終実績値	34億円/年	